



亥 辛  
千代名書



聖師

先兆

和り能善哉

かさ

筆海

祖明

春真

高う獲業和源

會所連

吾拂

苗代の際を川

泉古

二之本物睦小

里撻

梅や咲散

文里

雲ちらら〜鶯能夢のつら

里南

淡雪小鳥水々柳のまゝ多條

尺遠

梨能夢に〜く〜月の揺るる

波夕

風能酒を〜恙事糸のそ凡情

拳石

淡雪や来と〜傘能上

桃里

春もや 蔭を能中 止ま〜

時來

淡雪紋さ〜い香も根芽うか

大瀧連

洗危

粉雪能塵に夕下の一白うね

玻山

止回や 其白さう梨小水の音

女

紫石

流石の響きの小き城の跡

之言

岩角小貝の如く夕可

河行

水多流む山田の菅能延る素

蕪支

質し如凡ふそよくち能操

女  
子

甚能や眼書き猫小花能延

巴悠

翔る如響能あ少婦を能延

竹至

甚能や如喘し河けきる麻の切

卷蓋

塵も清く澄々如あり流ひ芽

疏琉

意小振ふ扇と被是守る如の菊

巴洲

みよしづ 煙を御し 暮らる

哥朝

高城少年 柳の影の如く

高城少年 柳章

雨まじく 火小き 柳の姿に

山部連 枕流

抹摺の音 組初き 柳の音

兔行

月匂のよき 組能 柳の音

梅雪

雪解や 抄も 柳も 起る

根越連 一止

蛇小あ 柳の音

其扇

雪の音 小 柳の音

二考

梅さく 朝の砂音能中一なりや

山直海連

梅選

松小透く 妙宮此毒の粉さく

寄石

白毒紙蝶此をくぬいを懐かぬ

秋湖

梅り香や 條の星は雪小粉まては

墮仙

至梅の色より紫い濃地白ひり糸

了雅

陽光此澄小目く川や多車

保倉川連

吐屑

かび多や 牛能眠るの右たり

氣洞

あふ巖や 多岩のあふふ二三

耳洗

産源一 友吸くまのり 産源

中邑連  
挑郷

と川産富士正合きらのり 産源

シマクラ  
樹東

能つりらと産小流一 産源

柳ハヤシ  
之蝶

里産音解乃系 産源

也生

嶺月星の星くまのり 産源

小イワミ

峯産日の川小流音解くま

ハンマチ  
阜行

喜風此道やおまのり 産源

二本木連  
芦石

海系おのりくまのり 産源

湖竜

澄くなく身同のまじり常つゝ

屏濱連

玉芝

亭能半出おせれまゝ葉は初

蓮竹

能心かゆる處より引くま

中城

之嶺

空のあやみ 穢小なりまゝ月邊し

高城

雨夕

空や 流とまき空は 穢なり

木田連

関悟

飯時小空は 夢く農洲 治り

惟山

うく花もや花の新見も 花上

露掌

空や 冨く下流 細流也

桃之



蔓草の根は人の心も通る

疏通

春の雨や香間小舟の揚ぐゆき

花徑

柳の葉は

まろやかなる

中々の

祖明

文通

波かきし能く如く乃々文字

吾智

斗南

包う福をくくく旭小舟の海

イウモサキ

北涯

石津村

林

坂形城

